

第5章 普及啓発

5.1 はじめに

沖縄県の外来鳥類への防除に関する取り組みや、生き物の適正利用・管理を伝えることを目的とし普及啓発を行った。令和3年度においては、普及啓発パネルを製作・設置し、合わせて令和2年度に作成した普及啓発資料の配布を行った。

5.2 実施内容

普及啓発パネルのデザイン、配布資料およびパネルの設置状況を図 5.2、図 5.3 に示す。普及啓発の主な対象者は黒島住民、実施時期は令和4年3月2日～30日、実施場所は黒島港待合室、関係機関は竹富町役場まちづくり課である。



図 5.1 普及啓発パネル

注) サイズ : H. 1700mm×W. 1500mm

沖縄で野生化しているクジャクを 知っていますか？

外来種ってなに？

人が持ち込んだことで、もともとの生息地とは異なる場所へすみついてしまった生きもの

インドクジャクってどんな生きもの？

【原産地】インド、スリランカなど
【生 間】寿命：20～30年
【エ ザ】植物：昆虫、小型のトカゲなど
【特 徴】産卵は毎、一夫多妻、卵は一度に6～8個を産む

沖縄では、生きものたちが独自の進化を遂げ島ごとにそこしかいない生きものが生息するなど、世界的にも貴重な生態系がつくられています。このような特異な環境や生き物は、さまざまな変化に影響を受けやすく、**外来種の侵入も大きな脅威となります。**

外来種の1つであるインドクジャク(以下、クジャク)は、黒島や小浜島、石垣島、宮古島などおもに観光用に持ち込まれ、野外へ逃げ出し野生化しています。クジャクの被害は生態系だけでなく農業や畜産業へも広がっています。

生態系への影響

農業への影響

畜産業への影響

そこで、沖縄県ではクジャクへの対策として、以下の目標を立て具体的なとりくみを進めています。^{※1,2}

- ◎ 特に貴重な自然が広がる西表島への侵入を防ぐ
- ◎ すでに野生化している地域のクジャクを減らす

黒島でのとりくみ

卵をとる

翌年に産まれるヒナの数を抑えることができるよ

捕まえる

すでに野生化したクジャクを減らしているよ

クジャク個体数

年次	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
個体数	182	459	616	783	

産卵個体の数(卵数)

年次	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
個体数	103	303	446	527	

もとの自然にもどすには長い期間を要し続けたいね…
黒島のみなさん！引き続きご協力よろしくお願いします！

4年間で推定生息数が1/3に!

生きものについて理解を深め、沖縄の島々の繊細でかけがえのない自然を守っていきましょう。^{※3}

- ✗ みだりに野生の動物を捕まえて持ち帰ったり、植物を採ったりしないようにしましょう
- ✗ 飼育していた動物を放ったり、植物をみだりに植えたりすることはやめましょう

沖縄県環境部自然保護課
〒900-8570 沖縄県那覇市黒島1-2-2 行政棟4階(北館) TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2655
メールアドレス aa03004@pref.okinawa.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/index.html>



図 5.2 普及啓発資料（令和2年度作成）



黒島港待合室パネル設置状況（近景）



黒島港待合室パネル設置状況（遠景）

図 5.3 普及啓発パネルの設置状況